

令和 3年度

事務事業評価表（令和 2年度 の実績評価）

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		住宅リフォーム助成事業			事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け			新規/継続 単独/補助		事務事業No. 040201001011		
総合計画の施策名		0402 商工業の振興					所属課 050301		
政策名		04 活力ある産業のまちづくり					課長名 商工観光課		
施策名		02 商工業の振興					グループ 商工観光グループ		
手段名		01 ①商工業の振興					担当者名		
財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目		会計 款 項 目 事業 細			一般会計				
01 07 01 02 01 00					商工振興事業				
法令根拠 住宅リフォーム助成事業補助金交付要項					期間限定複数年（平成30年度～令和3年度）				
					➡ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要（事務事業の全体像） 市内の消費の促進及び商工業等の振興を図るため、市内の施工業者によって住宅のリフォーム工事を行う市民に対し、予算の範囲内において桜川市住宅リフォーム助成事業補助金を交付する。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・告知、広報 ・申請受付 ・審査及び交付、不交付の決定（通知） ・実績報告の受付、審査（必要に応じて現地調査）、補助金額の確定（通知） ・補助金の支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）	
広報事務、申請受付事務、審査事務	受付件数	件	46.00	57.00	40.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）	
対象工事を行う市民	補助金交付件数	件	42.00	55.00	40.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）	
消費の促進及び商工業等の振興を図る	補助金交付金額	千円	3,652.00	4,854.00	4,000.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移		01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円 1,643	1,800	0	0
		県支出金	千円 0	0	0	0
		地方債	千円 0	0	0	0
		使用料・手数料	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	0	0
		一般財源	千円 2,009	3,200	4,000	14,907
		事業費計（A）	千円 3,652	5,000	4,000	14,907
	正規職員従事人数	人 2.00人	2.00人	2.00人		

02年度事業費 実績（千円）		03年度事業費 予算（千円）	
18 負担金補助及び交付金	5,000	18 負担金補助及び交付金	4,000
合計		合計	
	5,000		4,000

事務事業名	住宅リフォーム助成事業	事務事業No.	40201001011	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 市内事業者の育成や商工業の振興を図るため、平成30年度から事業を開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 予算を超える申請があり、予算を増やしてほしいという声が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 総合計画の基本計画に位置付けられており(4-2 商工業の振興)、政策体系に結びついている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内事業所の振興を目的とした事業であり、公共関与は妥当である
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 例年、申請額は予算上限近くに達しており、これ以上の成果を生むためには予算増加が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 本事業を廃止した場合、市内業者へのリフォーム発注数が減少すると予想され、地域経済の縮小が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため、統廃合・連携の余地はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は予算の範囲内であり、人件費は最小限となっているため、削減余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民への補助金交付により市内事業所の振興を図る事業であり、公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	前年度に比べ増加した申請数に対応するため、9月補正にて一般財源より1,000,000円の予算増を行った。助成金額は前年度に比べ大きく伸び、高い経済効果を生み出すことができた。	
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>